

## 令和六年度「国語」問題出題意図等

※【出】は「出題意図」を、【解】は「解答又は解答例」を表す。

一

問一 【出】漢字および語彙の理解力と知識とを問う。読みから文脈にふさわしい語彙を選ぶことができるか、その語彙を適切に漢字で表記できるかどうかを評価する。

【解】1:華麗 2:羅列 3:茶飯事 4:催眠

問二 【出】文章の意味を理解しているかどうかを問う。

問三 【出】文章の読解において、筆者の考えを、前後の文脈を手掛かりにして推定する力を問う。

問四 【出】文章の意味を理解しているかどうかを問う。

問五 【出】文章の意味を理解しているかどうかを問う。

問六 【出】論全体を把握したうえで、筆者の意見を把握できているかどうかを問う。

二

問一 【出】筆者の論を正確に理解できているかどうかを問う。

問二 【出】筆者の論を踏まえたうえで、応用的な例を考えることができるかどうかを問う。

三

問一 【出】文語文法の基本的知識を問う。

問二 ア～ウ【出】口語文との関連をふまえ、文章の流れが把握できているかを問う。

問三 【出】古典の基本的知識をふまえ、現代語訳できるかどうかを問う。

問四 【出】古典の基本的知識をふまえ、現代語訳できるかどうかを問う。

四

問一 【出】基本的な漢文訓読の知識を問う。

【解】1:よく 2:ついに(つひに)

問二 【出】口語訳の力を問う。

問三 【出】口語訳の力を問う。

問四 【出】文章全体の流れを把握したうえで、結末部が理解できるかどうかを問う。

出典

一 山崎正和『演技する精神』

二 多和田葉子『言葉と歩く日記』

三 『平治物語』

四 『蒙求』徐子光注